

第3章 計画の基本的考え方

1 基本理念

こどもは地域の宝であり、未来を築いていくのはこども達です。そして、こども・若者への支援は未来への投資であり、社会全体で取り組むべき最重要課題の一つです。

少子化の進行や、こども・若者を取り巻く状況が大きく変化する中、全てのこども・若者が、心身ともに健やかに成長できることはもとより、夢や希望を持ち、困難な状況に陥った場合でも周囲の大人や社会にサポートされ、乗り越えられることで幸せを感じられる社会づくりが必要です。

また、若い世代が、仕事と生活を調和させながら、希望と意欲に応じて社会で活躍し、それぞれの希望に応じ、家庭を持ち、子育てに喜びを実感できるよう、地域全体でこどもや子育て家庭を支えていくことが重要です。

このため、本県では「宮崎でこどもを生んで良かった、子育てをして良かった、そしてそのこども達が宮崎に生まれて良かった」と思えるような宮崎の実現を目指して、次の基本理念を掲げることとします。

「すべてのこども・若者の夢や希望を応援し、幸せの輪が広がる宮崎づくり」

2 基本的視点

視点1 こども・若者の視点に立った施策の展開

こども・若者の意見を幅広く聴取し、その声を反映した施策を展開することにより、質の高いより実効性のあるこども施策を実践することで、課題解決に取り組んでいきます。

視点2 ライフステージに応じた切れ目のない支援

妊娠前から乳幼児期、学童期、青年期と、各ライフステージにおいて教育・保育、保健、医療、福祉など、切れ目なく支援することで、こども・若者が自分らしく社会生活を送れるよう社会全体で支えていきます。

視点3 困難な環境にあるこども・若者の支援

障がいや疾病、虐待、貧困、家族の状況その他様々な事情により困難な状況にあるこども・若者が、安全で安心して過ごし幸せな状態で成長することができるように、その特性やニーズに応じたきめ細かい支援を行っていきます。

視点4 若者にとって魅力ある宮崎づくり

若い世代が宮崎で働くことや暮らしていくことに喜びを感じ、仕事におけるキャリアとライフイベントが充実することによって希望のライフプランを描けることができるよう、魅力ある地域づくりを推進していきます。

視点5 国や市町村、関係団体との連携、県民・企業との協調促進

少子化傾向に歯止めをかけ、反転させていくためには、国と地方が車の両輪となって取り組む必要があり、国や市町村との連携を強化します。また、こども・若者や子育てへの支援に取り組む団体や企業、県民との少子化に関する意識の共有・協調を促進していきます。